

5年生 体育「ハンドボール」

目指す児童の姿

- ・目標の達成に向けて、他者と協議しながら、主体的に取り組む子
- ・自己の成長や学びを客観的に振り返り、それを生かして自らの意思で学び続ける子

《今回の学習内容》

「ゴール型」ボール運動の導入として「ハンドボール」を取り上げ、「投げる・捕る」を主とした比較的簡単な技能でゲームを展開します。リーグ戦を行い、ゲームを楽しむことを学習ゴールに設定し、児童が意欲的に練習に取り組んだり、作戦を考えたりすることができるようにしました。

- 1 まず、前の時間に行った学習の振り返りです。友達が書いた感想が紹介され、ゲーム中に気を付けるポイントをみんなで共有しました。そして、本時のめあてやチームの作戦を確認しました。今日やるべきことを、一人一人がしっかりつかんで学習がスタートしました。



もっと前に出て！



- 2 準備運動、ボール慣れの運動の後は、ゲームの前に、今日の作戦の動きを確認するチームタイムを設定しました。指導者は考えや取組のよさについて称賛したり、考えた作戦の動きについて声を掛けたりしました。チーム内で対戦しながら、どのように動けばよいか共通理解を図りました。



- 3 いよいよゲーム開始です。挨拶をした後、円陣を組んでチームの意識を高めました。プレイしている児童はもちろん、コートの外で見ている児童からも動きの指示や称賛の言葉が積極的かけられました。ゲームに勝利するために、どの児童も主体的に学習に取り組みました。



今日の作戦は…



右に動いてパスをもらって！

- 4 最後に、本時の学習について、チーム→個人の順番で振り返りをしました。作戦でうまくいったところ、自分ができたこと、次回の課題にしたいことなどを、次時の勝利に向けて、一人一人が考えて学習シートに記述しました。